

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008広第34号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成20年9月17日 13時10分ごろ	
発生場所	香川県坂出港第1区 坂出港西防波堤灯台から真方位085° 500m付近（概位 北緯34° 19.8′ 東経133° 51.4′）	
事故等調査の経過	平成20年10月17日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第五丸<sup>まるおか</sup>岡丸、198トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131632、五和海運有限会社</p> <p>乗組員等に関する情報 機関長 四級海技士（機関）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 なし</p>	
事故等の経過	本船は、機関長ほか3人が乗り組み、坂出港第1区を航行中、平成20年9月17日13時10分ごろ、着岸のため後進操作したが、切り替わらなかったため、主機を停止して錨泊した。その後、本船は引船を手配し、えい航されて着岸した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5</p> <p>海象：波高 約1m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、主機付クラッチの冷却海水管がごみ等で詰り、油温が上昇し、作動油圧が低下してクラッチの切替え操作が不能となった可能性があると考えられる。</p> <p>機関長は、主機付クラッチの油温、作動油圧及び冷却海水の船外放出状況を適切に監視していなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が坂出港沖を航行中、主機付クラッチの冷却海水管が詰まったため、油温が上昇して作動油圧が低下し、クラッチの切替え操作が不能となったことにより発生した可能性があると考えられる。	